

## ★ 提案50に賛成の議論 ★

### 2026年の選挙を不正操作するTRUMPを阻止

Donald TrumpとTexas州共和党は、投票が始まる前から、議会の議席を奪い、2026年の選挙を不正操作するという前例のない権力奪取を図っています。

他の共和党の州もこれに追随しています。彼らは、有権者が彼らの政策を圧倒的に拒否したとしても、議会を支配するのに十分な議席を奪おうとしているのです。

これは、通常の政治活動ではありません。これは、私たちの民主主義にとって緊急事態です。

### 議会における公正な代表権を確保

Trumpが、無謀に関税を課してCalifornia州の家庭に打撃を与え、火災の被災者に災害支援を拒否し、令状なしに大量逮捕を命じたことは、すでに目撃しています。2026年の議会選挙は、Trumpの危険な政策に対して必要なチェックとバランスを提供する唯一のチャンスです。

California州民が今行動を起こさなければ、Donald Trumpはさらに2年間、全権力を掌握することになります。提案50、選挙不正対応法は、彼らの反民主的な計画に終止符を打つものです。その内容は次のとおりです。

- 公平な競争の場を確保。提案50は、2026年中間選挙が共和党に不当な優位性なく公平な競争の場で行われることを保証します。
- 公正な選挙区再編成を約束。提案50はCalifornia州の独立した選挙区再編成への取り組みを再確認し、公正かつ公平な選挙地図の全国的な取り組みを求めます。
- 有権者に権限を委ねる。提案50は、Trumpの選挙不正工作に対応する緊急の連邦下院議会選挙区の地図を承認する権限を、密室政治家ではなくCalifornia州民の手に委ねます。
- 公平かつ比例的。提案50が緊急地図を提供する理由は、共和党が権力掌握を強行したためです。
- 一時的。これらの地図は2030年に失効します。提案50は、California州の受賞歴のある選挙区再編成改革を維持し、次回の国勢調査後に

連邦下院議会選挙区を策定するCalifornia州市民選挙区再編成委員会の権限を再確認します。

事態は極めて深刻です。もし共和党が選挙を不正操作し、来年議会支配権を奪取すれば、億万長者や大企業への減税財源を確保するため、何百万ものアメリカ人の医療保険を廃止し、学校予算を削減し、退役軍人向け重要サービスを切り詰めることを続けるでしょう。

### 全50州で民主主義を守る

Californiaには民主主義を守る義務があります。そのためには、一方的に武装解除したり、両手を縛られた状態で戦うわけにはいきません。Trumpが選挙を不正に操作しようとした場合、あらゆる手段で反撃しなければなりません。

提案50は、California州の多様なコミュニティを代表し、他州での党派的な選挙地図の不正操作によって私たちの意見が抑圧されることのない、公正な選挙地図を定めています。

California州は、投票権と公正な選挙の保護において、全米をリードしています。他州が私たちの意見を抑圧し、制度を不正に操作しようとする場合、断固として対応しなければなりません。

Barack Obama統領、Gavin Newsom州知事、Alex Padilla上院議員、Adam Schiff上院議員、Nancy Pelosi元下院議長、選挙専門家、独立選挙区割委員会委員、Planned Parenthood、NAACP、California州退役軍人、教師、看護師たちとともに、この提案に賛成してください。Trumpの選挙不正を阻止するために、提案50に賛成票を投じてください。

チェックとバランスを守るために、賛成票を投じてください。

全米50州における民主主義を守るために、賛成票を投じてください。

### Gavin Newsom知事

Alex Padilla米国上院議員

Nancy Pelosi米国下院議長

## ★ 提案50の賛成意見に対する反論 ★

### 間違った道—提案50に反対

米国の民主主義が危機に瀕していることは承知していますが、選挙区割りの不正操作を加速させることは事態をさらに悪化させるだけです！政治家たちはこの危機を権力掌握の正当化に利用しているのです。

### 提案50は民主主義を守らない

提案50は国家の病を治す特効薬ではありません。民主主義を守ると言いながら、地域社会の声を弱め、大統領権力の乱用に対しても無力です。反対票を投じてください。

Californiaの選挙区画定操作により、議会は透明性や市民の意見なしに党派的な議席を画定し、現職議員を守るためにだけ動きました。2001年までに政府は機能不全に陥り、議員たちは党の極端な立場に人質に取られた状態でした。

有権者は立ち上がり、区割り権限を市民に移譲しました。その結果は：

- 競争激化選挙区：従来は安全圏だった議席も、今や獲得が必須となりました。
- 代表性の向上：州議会における女性の議席数は倍増、アジア系代表は3倍に、黒人代表はほぼ倍増、ラティーノ系議席は8%増加しました。

• 市民のための政府：より穏健な議員が増えたことで、州議会は超党派の法案を可決し、全てのCalifornia州民の利益のために活動しています。私たち国民

選挙区はどちらの政党のものでもありません。国民のものなのです。しかし、党のボスたちは再び主導権を握ろうとしています。「金で政治を動かす」システムに反対します。

提案50はこれを「一時的」と称していますが、州議会は2028年、2030年、そしておそらくそれ以降も、独立した市民選挙区再編成委員会を再び迂回するでしょう。騙されないでください。

法律制定者は密室でこの地図を描き、あなたに形式的な承認を求めています。これはあなたの選択ではありません。

党派的な選挙区操作に反対票を投じてください。提案50には「いいえ」と投票してください。

Cynthia Dai (輪番議長)

初代市民選挙区再編成委員会

Jeanne Raya (輪番議長)

初代市民選挙区再編成委員会

Jodie Filkins Webber (輪番議長)

初代市民選挙区再編成委員会

## ★ 提案50に反対の議論 ★

### 提案50:政治家による権力掌握

提案50は政治家によって、政治家のために作成されました。提案50は選挙地図を公正に保つ憲法上の保障を解体します。都市・郡・地域コミュニティを一体に保つ要件を撤廃し、現職者や政党に有利な地図を禁止する有権者保護を廃止します。これにより政治家が自ら、あるいは仲間たちの選挙区を自由に描けるようになります。

「反対」票は公正な選挙を守り、California州民(政治家ではなく)が選挙区再編成を主導する権利を維持します。

提案50に反対:有権者承認の画期的な選挙改革を廃止する

数十年にわたり、Sacramentoの政治家たちは密室で自らの選挙区境界線を引いてきました。公的な監視もなく、自らの再選を保証し、有権者に真の選択肢を与えず、多くの女性や有色人種を選挙職から締め出してきたのです。

2008年、California州の有権者は歴史的な選挙改革を承認し、独立したCalifornia州市民選挙区再編成委員会を創設しました。有権者は、選挙区境界線は利益を得る立場にある政治家ではなく、一般市民で構成される公平な委員会によって引かれるべきだと決定したのです。

提案50は、35,000人以上のCalifornia州民の意見を反映した透明な公的プロセスで作成された、市民による連邦下院議会選挙区の地図を無効化します。代わりに政治家が密かに地図を作成し、有権者に「反対」の真の意思表示の機会すら与えませんでした。

提案50に反対:独立した区画再編を永久に終わらせる新たな策略

2008年と2010年、民主党と特殊利益団体は市民による区割り阻止に数百万ドルを費やしました。その後、California共和党は市民作成の地図を覆すため訴訟を起こしたが敗訴しました。今、Sacramentoの政治家たちは提案50で支配権を取り戻そうと画策しています。

誤解しないでください:提案50は一時的なものではありません。半世紀以上にわたり、政治家は自分たちに有利な選挙地図を強要することができます。さらに悪いことに、これは危険な前例を作り出す(2031年以降もSacramentoが選挙地図を描き続ける道を開く)、政治家に恒久的な権力を与え、Californiaの高騰する生活費、急騰する住宅費、上昇するエネルギー料金に対する説明責任から自身と仲間を永久に守らせます。

提案50に反対:政治的スピンに惑わされない

当初から独立した選挙区再編成に反対してきた同じ政治家たちが、今や提案50が「民主主義を救う」と主張しています。真実は、提案50が公衆を排除し、Californiaに選挙区操作を復活させることで、公正な代表制を弱体化させることです。

提案50は民主的ではありません。有権者に、California史上最も党派的な地図を「受け入れるか拒否するか」の二者択一を強いるものです。これは政治家たちの密室取引の産物であり、有意義な市民参加はゼロです。

提案50は政治家の利益のために地域社会を分断します。郡を114回、都市を141回も分割するのです(市民が作成した地図をはるかに上回る回数です)。

「政治家が選挙区操作を行うとき、私たちの地域社会を分断し、有色人種コミュニティの声を弱めます。Texasで何が起ころうと、Californiaで民主主義を破壊して救うことはできません。提案50に反対票を投じてください。」—公民権運動指導者、Mac Shorty牧師

提案50に反対:納税者の巨額の無駄遣い

議会はこの政治家保護のための憲法改正を可決するためだけに特別選挙を実施し、納税者に2億ドルの負担を強いています。

巨額の財政赤字を抱える中、Sacramentoの政治家たちは医療、住宅、教育、公共安全への予算を痛みを伴う削減を続けています。重要なプログラムを守る代わりに、彼らは政治的権力掌握に資金を費やしているのです。

提案50には「いいえ」と投票してください。

VotersFIRSTAct.org

Roberto Moncada、役員会メンバー  
ユナイテッド・ラティノ・アクション

Faith Bautista Tamashiro、大統領  
ナショナル・ダイバーシティ・コアリション

Taylor Shorty、役員会メンバー  
コミュニティ・リパワー・ムーブメント

## ★ 提案50に反対意見に対する反論 ★

警告:提案50反対運動はTRUMPの過激派によって支援されている  
提案50に反対するために何百万ドルも費やしているのは誰でしょうか?

Donald Trumpとレッドステートの共和党員が2026年の選挙を不正に操作し、さらに2年間、Trumpに無制限の権力を与えることを支援したいと考えている、反中絶の億万長者、Charles Munger Jr.です。

独立した選挙区割りの委員、選挙の専門家、そして主要な公民権団体(NAACPから全米民主党選挙区割委員会まで)は、「提案50に反対」という偽りの表向きの団体が流布する嘘を拒否するよう、願っています。

第1の嘘:「提案50は有権者が承認した画期的な選挙改革を廃止します」。これは明らかに虚偽です。提案50は全ての州に党派的な選挙区画定(ジェリマンダリング)の廃止を求め、次回の国勢調査後に選挙区画定を行うCalifornia州市民選挙区画定委員会の権限を再確認するものです。

第2の嘘:「提案50は、都市・郡・地域コミュニティを一体として維持する要件を撤廃します」。提案50はむしろ逆で、現行のCalifornia州地図よりも多くの都市と郡を統合し、コミュニティを一体として維持します。

第3の嘘:「提案50は、政治家が自らの選挙区を再編成する権限を復活させます」。これは事実ではありません。提案50は、緊急の選挙地図を承認する権限を政治家ではなく有権者に与えます。

第4の嘘:「提案50は、独立した選挙区割りを永久に廃止します」。これも事実ではありません。提案50は、Trumpの選挙操作計画に対する一時的かつ比例的な対応であり、2030年に失効します。

California州民は、Donald TrumpとTexas州共和党員が2026年の選挙を不正操作し、私たちの意見を封じることが許してはなりません。

提案50に賛成票を投じてください。

民主主義を守り、無党派の選挙区割りを維持し、50州すべてで公正な選挙を確保しましょう。

Sara Sadhwani、委員  
2020年California州選挙区割委員会

Jodi Hicks、大統領  
California州家族計画連盟

Nikki Davis Milevsky、大統領  
Sacramento市教員組合